月曜2限科学技術基礎論Ⅱ　天然痘テロシミュレーション　市民マスコミグループ

＜質問例＞

※行政グループの設定、情報公開の度合いによって臨機応変に対処していくことが必要になるが、ある程度内容は考えておけるはず。

（以下、東京都杉並区で実施された同内容のシミュレーションを参考に）

市民サイド

・区民・学生―防疫について。具体的手段（薬剤の空中散布）にまで言及。実効性は？

・区民・男性―患者の個人情報公開を要求。

・新聞社―記者会見に言及するなど、マスコミサイドに近い質問。

・東京都鉄道本社安全担当部長―患者の駅利用について

・杉並台付属高校副校長―患者を移送した病院近くでの生徒の登下校について

・脅迫（テロ実行犯を装う）―伝達は他の区役所職員から

・区民・男性―ワクチン接種要求

・区民・女性―電話の便について苦情、ワクチン接種要求

・区民・若い男―天然痘について。風評。

・バス安全運行課長―患者によるバス利用・バスの防疫について

まずは質問してくる可能性のある市民の候補を列挙することが重要か。個人と企業、公的機関の代表者に立場を二分。前者は天然痘への区の対応、防疫等、自身の身に関わる問題について質問、要求、苦情申し立てを行うパターンが多い。噂によって誤った情報を得ていたり、冷静さを欠いていたりすることも。後者は自分の所属する機関に関連する話題について。たとえば学校なら生徒への対応、企業なら社員への対応、交通機関なら利用客の安全対策について区に相談するパターンが多い。個人のことは聞かない。

立場によって異なる質問内容を考えなければならない。個人でも医療関係業務従事者、医学生などある程度の専門知識を有するものとまったくの素人には質問内容のレベルに大きく差が出てくるはず。こっちで観客を巻き込んでいきたいところ。

マスコミサイド

・患者との接触をどのように判断するのか。

・患者の個人情報公開を求める

・事態の広がりについての展望

・杉並区への責任追及

・警察の動き

・どこで診断してもらえばよいか

・電話応対について

・二次感染拡大、食料品への影響について

・住民への情報告知について

・区の対応追及

・ワクチンの確保量

・個人情報保護の観点から、患者情報公開について

・風評被害への対応について

・交通機関利用情報について

・ワクチンの副作用等

・再度のテロへの警戒態勢

・さらなる患者の発生への対処

・天然痘の症状について

・区の対応への批判

マスコミもその規模等によって持っている情報や知識に差があるものと考えられる。天然痘に関する基本的知識やワクチン等について、情報公開や風評対策など市民への対処について、行政側の対応への批判などが主になるだろう。例えば新聞社、テレビ局等ならニュースソースを引き出し、市民目線かな。週刊誌等は話題作りのために過激な答えを求めて質問するかも。

市民サイドよりこっちの方が質問の候補を挙げやすいのか？あくまで情報を引き出す公的な立場なので、冷静にかつ踏み込んで質問していきたい。

＜質問してくる市民の候補＞

・知識の乏しい個人、10代～老人まで

・知識のある個人、10代～老人まで

・公共交通機関の代表者

・学校関係者

・劇場・映画館・ホール等支配人

・博物館・美術館・図書館・スポーツクラブ等の長

・食料品関係の職業従事者

・企業関係者

・風評被害を起こす者